

成田市環境基本計画

環境にやさしい暮らしや事業活動に向けて

環境配慮指針

市民・事業者の環境への配慮のために

内容

1 市民の環境への配慮に向け

- 基本目標1 安全・安心で快適に暮らせる自然共生のまちをつくる 市民-2
- 基本目標2 エネルギーや資源を大切に使う低炭素・循環型社会をつくる 市民-6
- 基本目標3 環境学習・環境活動の環を広げ、交流と協働の社会をつくる 市民-10

2 事業者の環境への配慮に向け

- 基本的な事業者の取組 事業者-1
- 基本目標1 安全・安心で快適に暮らせる自然共生のまちをつくる 事業者-2
- 基本目標2 エネルギーや資源を大切に使う低炭素・循環型社会をつくる 事業者-4
- 基本目標3 環境学習・環境活動の環を広げ、交流と協働の社会をつくる 事業者-8

- 業種別環境配慮指針 事業者-9

1 市民の環境への配慮に向け

市民の取組として、市民が日常の生活の中で取り組んでいくことが望まれる内容を、成田市環境基本計画の基本目標・個別目標ごとに示しています。

一人ひとりのライフスタイルに応じて、できることから取り組んでみましょう。そして、ステップアップしながら、ライフスタイルを見直すなど、より環境にやさしい暮らしづくりを進めていきましょう。

基本目標 1 安全・安心で快適に暮らせる自然共生のまちをつくる

個別目標 1 安全・安心して暮らせるまちをつくる

環境の現状を学び・考えてみましょう

- 環境情報の収集や、市や市民団体が主催する環境イベントに参加するなど、積極的に市や住まい周辺の環境の現状を把握しましょう。
- 有害化学物質などによる私たちの健康や生態系への影響について考えてみましょう。
- 地球温暖化などによる気候変動の影響について考えてみましょう。

毎日の暮らしの中で取り組んでいきましょう

大気環境の保全

- 野焼きをしないようにしましょう。
- 自動車の利用を控え、公共交通機関や自転車を積極的に利用しましょう。
- 自動車を買う際は低公害車を選びましょう。
- 環境にやさしい運転（エコドライブ）を実践しましょう。

近隣への騒音防止

- テレビやステレオなどを利用する際は、時間帯や音量に配慮しましょう。
- 集合住宅では、隣人や上下階の人に迷惑をかけないように配慮しましょう。
- ペットは責任をもって飼育し、適切に管理しましょう。

生活排水による、土壌や河川・地下水汚染防止

- 食器に付いた油や汚れを拭き取ってから洗いましょう。
- 排水口にネットを使用するなど、固形物を流さないように努めましょう。
- 洗剤の適正利用に努めましょう。
- 使用済みの食用油は、排水口に流さないようにしましょう。（市の回収に出しましょう。）
- 農薬や化学肥料などの適正使用に努めましょう。
- 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を図りましょう。
- 合併処理浄化槽の適正な維持管理に努めましょう。
- 浄化槽の機能に影響を与えるような強い薬品を流さないようにしましょう。

地下水などの水環境の保全

- 雨水貯留槽や雨水浸透ますなどを設置しましょう。
- 地下水の過剰な汲み上げをしないようにしましょう。

環境の現状を学び・考えてみましょう

- 生物多様性についての理解を深め、身近な自然や生き物について関心を持ちましょう。
- 市が進める自然環境調査などに積極的に参加しましょう。
- 市や市民団体が実施する環境イベントに積極的に参加しましょう。
- 市が公表する生物多様性保全のための取組に関する情報などを知りましょう。
- 自分が調べ、観察した生き物情報を発信するなど、交流を広めていきましょう。

身近な自然とのふれあいを楽しんでみましょう

- 身近な生き物・里地里山ふれあい拠点で、散策など自然とのふれあいを楽しみましょう。
- 身近な生き物・里地里山ふれあい拠点での子どもの遊びや自然とのふれあいを見守りましょう。
- 生き物・里地里山ふれあい拠点の情報や自然学習教材などを活用し、親子や友だちと一緒に自然観察や自然とのふれあい体験を実践してみましょう。
- 地域や学校での自然学習に参加・協力しましょう。

身近な自然や生き物を守り・育む活動に参加してみましょう

- 身近な生き物・里地里山ふれあい拠点などの清掃や環境美化活動に積極的に参加しましょう。
- 学校や地域のビオトープづくりや雑木林保全活動など、身近な生き物・里地里山ふれあい拠点の整備に参加しましょう。
- 地域在来生物の生息環境の保全に努めるとともに、保全活動に参加しましょう。

暮らしの中で取り組んでいきましょう

- ペットは最後まで責任を持って飼育し、周辺に放置しないようにしましょう。
- 山野草をむやみに採取しないようにしましょう。
- 野生の動物にむやみにエサをあげたり、接触しないようにしましょう。
- 地域の生態系を乱さないよう、外来生物被害予防三原則（入れない、捨てない、拡げない）を守りましょう。

里地里山の緑や水辺の恵みや役割を学び・考えてみましょう

- 学校や地域での自然や農業に関する環境イベントに参加し、自然や農業について考えてみましょう。
- 里地里山の緑、湧水や水辺などが果たしている環境保全の役割について学び、考え、暮らしに生かしていきましょう。
- 農業・農地が暮らしや環境保全等に果たしている役割について学び、考え、地域の農業を育てていきましょう。

緑や水辺の恵みや役割を守り・育む活動に参加してみましょう

- 森林の保全活動などボランティア活動に積極的に参加しましょう。
- 自然体験学習などに積極的に参加しましょう。
- 地域の緑化運動や花植え運動に積極的に参加しましょう。
- 地域の景観保全活動に積極的に参加しましょう。
- 歴史的文化遺産についての講演会や史跡めぐりなど、文化財とふれあう場に積極的に参加しましょう。
- 文化財保護活動に参加しましょう。
- 地域の伝統芸能や祭りなどを子どもたちに伝えましょう。
- 地域の自然と暮らし・文化に関わる言い伝えや生活の知恵などを引き継いでいきましょう。

暮らしの中で取り組んでいきましょう

里地里山の緑や水辺の保全

- 保有する森林の適正管理に努めましょう。
- 農地などを所有している場合、良好な状態に保ちましょう。
- 市や地域での耕作放棄地などの有効活用などに協力しましょう。
- 山林や水辺などに、ごみのポイ捨てをしない。
- 水辺をレクリエーションや生涯学習の場として積極的に活用しましょう。

住まい周辺の緑の保全や創造

- 屋敷林などを所有している場合、良好な状態に保ちましょう。
- 生垣の設置や庭木の植栽などに努めましょう。

土とのふれあいや地域農業の育成

- 地域の農作物を優先的に購入し、地産地消に協力しましょう。
- 市民農園や体験農園などに積極的に参加しましょう。

緑と親しむ

- 公園などを積極的に利用しましょう。
- 公園などで植物を折ったり、持ち帰ったりしないようにしましょう。
- 生垣の設置や庭木の植栽などに努めましょう。

景観の保全、伝統文化に親しむ

- 景観保全活動に積極的に参加しましょう。
- 伝統芸能や祭りに積極的に参加しましょう。

基本目標2 エネルギーや資源を大切に使う低炭素・循環型社会をつくる

個別目標4 エネルギーを賢く利用する暮らしづくりを進める（低炭素社会づくり）

エネルギーを賢く使う暮らしを考えてみましょう

- 自分のライフスタイルに適したエコライフ行動を進め、家庭からのCO₂排出を積極的に減らしていきましょう。【エコライフを楽しみましょう（節電）】参照
- 水道の利用も浄化やポンプなどで電力が使われています。水を大切に使う工夫をしましょう。【エコライフを楽しみましょう（水道の利用）】参照
- 太陽光発電などの再生可能エネルギー設備の導入や活用など、省エネ対策や効率的なエネルギー利用を進めましょう。【エコライフを楽しみましょう（エネルギーのスマートな利用）】参照
- 自家用車の利用をできるだけ控え、ガソリンなどの消費を減らす工夫をしましょう。【エコライフを楽しみましょう（自動車の利用）】参照
- 環境家計簿などにより家庭でのエネルギー消費やCO₂排出量を把握し、減らしていく取組を進めていきましょう。【エコライフを楽しみましょう（環境家計簿などの活用）】参照
- 市が実施する家庭でのエネルギー消費やエコライフ行動の実態調査などに協力していきましょう。

エコライフを楽しみましょう（節電）

- 電気製品を使用しないときは、主電源を切り、プラグを抜きましょう。
- 冷蔵庫の中に物を詰め込み過ぎないようにしましょう。
- 冷蔵庫のドアの開閉は手早く行いましょう。
- 家庭でも、着るものを調整し、クールビズやウォームビズを楽しみましょう。
- 空調の設定温度は、適正温度（夏28℃、冬20℃を目安）にしましょう。
- エアコンのフィルターなどはこまめに手入れをし、機能の効率を向上させましょう。
- エアコンの室外機の周りに物を置かないようにし、屋根を付けて直射日光を避けましょう。
- エアコンや暖房機器に加えて扇風機を活用するなど、室内の空気を循環させ効率を高めましょう。
- 窓やドアなどから冷たい空気や温かい空気が逃げない工夫をしましょう。
- こたつを使うときは、上掛けや下敷きの布団を使いましょう。
- 一つ部屋に集まり一家団らんなど、家庭でクールシェアやウォームシェアを行い、エアコンや暖房機器の使用を減らしましょう。
- 冷暖房を止め、街などに出かけ、公共施設などでのクールシェアやウォームシェアするなど、楽しみながらエネルギー使用量を抑えてみましょう。
- お風呂のふたはこまめに閉め、続けて入ることで二度焚きを減らしましょう。
- ガスコンロの火は、鍋からはみださない程度に調節しましょう。
- 夏は夏野菜やかき氷をおいしく食べて身体の中からクールダウン、冬は「鍋」などで身体を温めましょう。
- 時短レシピを導入するなど、調理から発生する放熱を軽減しましょう。

エコライフを楽しみましょう（節水）

- 炊事や調理、歯みがき、洗顔のときは、こまめに水を止めましょう。
- 節水コマを取り付けましょう。
- お風呂の残り湯を洗濯に利用しましょう。
- 必要のないときは、こまめにシャワーを止めましょう。
- 庭の水まきや洗車のときはバケツを利用しましょう。
- 雨水をためて、庭の水まきや洗車に利用しましょう。

エコライフを楽しみましょう（エネルギーのスマートな利用）

再生可能エネルギーの活用

- 太陽光発電設備や太陽熱温水器などを設置し、積極的に再生可能エネルギーを活用しましょう。

省エネ設備の活用や省エネ型住まいづくり

- 自然を生かした住まいの省エネ対策を進めていきましょう。
 - ・ 冷暖房の効率的利用に向け、カーテンやブラインドの活用、緑のカーテンやすだれなどの活用
 - ・ 冷暖房の効率的利用に向け、自然採光や自然通風などの活用
 - ・ 朝や夕方の打ち水（気化熱により周囲の空気が冷やされます）
- 窓は断熱シート、複層ガラス、二重サッシなどを活用しましょう。
- 照明や家電等の買い替え時には、省エネ性能の高い製品を選んで利用するようにしましょう。
 - ・ LED など効率の高い照明機器や最新の省エネ家電を選んで活用
- HEMSなどを導入し、効率的なエネルギー管理に努めましょう。
- 住宅の建築や改築の際に、高気密高断熱化など省エネ対策を進めましょう。
- 住宅の新築や改築の際に、エネルギー効率の高い省エネルギー設備の導入に努めましょう。
 - ・ 断熱材やヒートポンプ空調、ヒートポンプ給湯器などの活用

エコライフを楽しみましょう（自動車の利用）

自動車の適正利用

- 近隣への移動は、積極的に徒歩や自転車を利用し、まち歩きや買い物を楽しみましょう。
- 通勤・通学の自家用車利用をできるだけ控え、鉄道やバスなどの公共交通を積極的に利用しましょう。
- カーシェアリングなどを積極的に利用しましょう。
- 環境にやさしい運転（エコドライブ）を実践しましょう。
- パーク＆ライドに努めましょう。
- 自動車の買い替えの際は、低燃費・低公害車や次世代自動車を選びましょう。

エコライフを楽しみましょう（家計にも、地球にもやさしい暮らし）

- 環境家計簿などを活用し、家庭でのエネルギー消費や CO₂ 排出量をチェックしてみましょう。
- エコライフを楽しみながら実践し、エネルギー消費や CO₂ 排出量を減らし、毎月の家計の負担を減らしてみましょう。
- 温度計、湿度計を近くに置いて室内環境を「見える化」するなど、温度や湿度を意識し、適度な冷房使用を心がけましょう
- 市が実施するエネルギー消費や CO₂ 排出量の実態調査、エコライフ実施状況の調査などに協力していきましょう。

個別目標 5

3Rによるごみを減らす暮らしづくりを進める（循環型社会づくり）

ごみを減らし、資源が循環する使う暮らしを考えてみましょう

- 市が提供する情報、ごみ処理施設への見学などを行い、ごみの減量や3Rの必要性、ごみ処理の実態を知りましょう。
- 詰め替え商品を選ぶなどごみをもとから減らす、レジ袋を断る、不要なものはもらわないなどリデュースを徹底しましょう。
- 繰り返し使う、修理して使う、フリーマーケットを活用するなどリユースを進めましょう。
- 各種リサイクル法で決められたものは、その手順に沿ってきちんとリサイクルしましょう。
- 市内で行われているリデュース・リユースなど3R活動の情報を調べ、参加しましょう。

エコライフを楽しみましょう（3Rを進めましょう）

リデュースの実施（ごみを元から減らしましょう）

- 必要なものを必要な量だけ購入しましょう。
- マイバッグ（買い物袋）を持参し、過剰包装やレジ袋を断りましょう。
- 繰り返し使える容器や詰め替え可能なものを選んで購入しましょう。
- マイカップやマイボトル・マイ箸などを携帯し、使い捨てを減らしましょう。
- エコマークなど環境ラベル表示製品や再生品を選んで購入しましょう。
- エコクッキングや食べ残しを減らすなど、調理くずや生ごみを減らしましょう。
- 生ごみの水切りや堆肥化など、生ごみの減量を進めましょう。

リユースの実施（使えるものは繰り返し使いましょ）

- 壊れても修理するなど、物を長く大切に使いましょ。
- 成田リサイクルプラザのフリーマーケットや自転車・家具の再生品販売に行ってみましょ。
- リサイクルショップやフリーマーケットなどを積極的に活用ましょ。

リサイクルの推進

- ごみとして出す前にリサイクルできるものは分別を徹底し、資源回収に出ましょ。
- 地域の子供会などの資源回収活動に参加ましょ。店頭回収に協力ましょ。
- ごみカレンダー通り分別やごみ出しをましょ。廃棄物減量等推進員の活動に協力ましょ。
- リサイクルによる再生品などを積極的に選択して使うなど、リサイクルを支えましょ。

ごみを適正に処理ましょ

- エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機やパソコン、自動車はリサイクル法により適正に処理ましょ。
- 使わなくなった携帯電話などの小型家電は、市の資源回収に出ましょ。
- 生ごみは機械式生ごみ処理機やコンポスト容器などを用いて、減量化や堆肥化をましょ。
- ごみのポイ捨てや不法投棄はやめましょ。
- 地域での清掃や環境美化活動に参加ましょ。

基本目標 3 環境学習・環境活動の環を広げ、交流と協働の社会をつくる

個別目標 6 環境交流と協働の社会づくりを進める（交流と協働社会づくり）

環境に配慮した暮らしを進めていきましょう

エコライフなど、環境に配慮した行動や活動を進めます

- エコライフの実践など、環境に配慮した暮らしや活動を進めましょう。

住まい周辺など身近なところから環境美化や緑化などを進めてみましょう

- 住まい周辺の環境美化や緑化を積極的に進めていきましょう。
- 空き缶、たばこのポイ捨てはやめ、ポイ捨て防止運動に積極的に参加しましょう。
- ペットのふんは持ち帰りましょう。

環境保全活動への参加など環境交流を進め、環境の環を広げていきましょう

- 「成田市生き物調査」や自然観察会、環境保全活動などに参加し、環境について学んでみましょう。また、市民や地域、情報などとの交流を深めていきましょう。
- 市や市民団体の環境フォーラムや環境まつりなどに参加し、情報や活動の交流を進めていきましょう。
- 環境活動を進めている市民活動団体に積極的に参加しましょう
- 地域の環境美化運動や公園緑地の維持管理に積極的に参加しましょう
- 「なりた環境ネットワーク」の活動に参加してみましょう。

個別目標 7 環境に学び、環境を育む人づくりを進める（環境にやさしいひとづくり）

環境について学び、生かしていきましょう

環境学習を進めます

- 「成田市の環境」や「なりたの自然環境」などの冊子を活用し、環境について学んでみましょう。
- 学校や地域の環境保全活動や環境学習活動に積極的に参加しましょう。
- 社会人大学や生涯学習における環境学習講座を積極的に利用しましょう。
- 事業者による環境イベントや出前授業などを積極的に活用しましょう。

学校の環境教育・体験学習に参加・支援します

- 学校が行う環境教育・学習や環境活動関連イベントに、積極的に参加しましょう。
- 自分の知識や経験などを生かして、学校の環境教育・学習や体験学習などを支えましょう。

環境情報を積極的に収集・発信します

- 身に付けた環境に対する知識を、家族や友人などに広めましょう。
- コミュニティ施設などを利用して、自主的に環境に関する勉強会を開催しましょう
- 本や雑誌・ホームページなどの様々な媒体による環境情報の収集、情報発信・共有をしましょう。
- 地域活動や市民団体活動において、積極的に環境に関する情報交換をしましょう。

2 事業者の環境への配慮に向け

事業者の取組として、事業活動や日常業務の中で取り組んでいくべき内容を、第3次成田市環境基本計画の基本目標・個別目標ごとに示しています。

保冷等を遵守しながら、事業所の業種や業務活動に応じて、できることから取り組んでいきましょう。そして、より環境にやさしい事業所づくりを進めていきましょう。

基本的な事業者の取組

環境配慮の取組体制の整備

- 環境対策の担当者又は担当組織を設置し、組織全体で環境活動に取り組みましょう。
- ISO14001 やエコアクション21 など、環境マネジメントシステムを導入しましょう。
- 環境配慮を経営方針の一つとして組み込み、姿勢を内外に公表しましょう。

社員の意識啓発の推進

- 社員への環境教育を実施し、環境配慮行動の実践を促しましょう。
- 積極的に環境配慮している社員や部署を評価し、行動内容を社内に広めましょう。
- 社員の環境活動のボランティア参加を推奨しましょう。
- 最新の環境情報を集約し、常に社内に情報発信できる体制を整えましょう。

環境法令の遵守

- 環境に係る法律の最新情報を常に把握しましょう。
- 法律や条例、地域との協定などの遵守を徹底しましょう。

基本目標 1 安全・安心で快適に暮らせる自然共生のまちをつくる

個別目標 1 安全・安心して暮らせるまちをつくる

日常の業務活動における公害の防止

- 市や国・県の環境に関する情報の閲覧など、環境の現状や環境に関するリスクについて考えます。
- 低公害型機械や低騒音型機器の使用に努めます。
- 有害な化学物質を含む原材料や資材の使用抑制と代替品への切り替えなどに努めます。
- 貨物車両や建設車両等への低公害車の導入・活用と適正な運行管理に努めます。
- 製造業では、大気汚染、水質汚濁、騒音などに関する自主的な管理目標を設定し、定期的に測定調査を行うなど、適正管理に努めます。
- 荷物の搬入搬出場所での騒音・振動・排気ガス・粉じんなどによる公害が発生しないよう努めます。
- 廃棄物置場の設置において、悪臭、地下水汚染、飛散・散乱防止など、周辺地域環境に配慮します。
- 汚水処理施設の定期的な点検を行います。
- 有害化学物質の使用を抑制し、代替物質への転換に努めましょう
- MSDS（化学物質安全性データシート）などにより化学物質の使用・保管管理を行いましょう
- 産業廃棄物は、適正に管理・処分し、不法投棄はしません。

個別目標 2 自然と親しむことができるまちをつくる

事業所周辺での自然環境の保全

- 地域の自然や生物多様性についての理解を深め、自然や生き物について従業員の関心を高めるようにします。
- 事業所や工場周辺の自然環境や生物生息環境に配慮し、保全活動や対策を進めます。
- 新たな事業所の開発や整備、改修を行う時は、自然環境の保全や自然再生などに努め、生物の保護・保全に配慮します。
- 事業所周辺の生き物・里地里山ふれあい拠点での子どもの遊びや自然とのふれあいの見守り、地域や学校での子どもの自然学習に協力します。
- 事業所敷地内にある緑地や良好な自然地などのエコスポットとしての活用に協力します。
- 「成田市生き物調査」など、市が進める自然環境調査、動植物生息調査などに協力します。

事業所の緑化や地域の緑化活動への参加

- 事業所の敷地内や屋上などの緑化を進めましょう。
- 緑化運動や水辺の美化活動など、地域の環境保全活動に積極的に参加・協力しましょう。
- 事業所周辺の公園緑地などの維持管理活動に参加・協力しましょう。
- 事業所周辺の街路や道路の落ち葉掃き、草刈り、清掃などを進めましょう。

基本目標 2 エネルギーや資源を大切に使う低炭素・循環型社会をつくる

個別目標 4 エネルギーを賢く利用する暮らしづくりを進める（低炭素社会づくり）

エネルギーを賢く使う業務活動の推進

- 事業活動に依じて、製品・商品のライフサイクル（資源・資材調達、製造、加工、流通、販売等）の低炭素化に配慮した取組を進めていきましょう。
- 「成田市地球環境保全協定」を締結し、省エネルギー・省資源などに積極的に取り組みましょう。
- 事業や業務活動を環境にやさしいものへと見直し、エコオフィス活動を進めていきましょう。
【エコオフィスの推進（省エネルギーの推進）】参照
- 自動車の適切な運用と利用など、温室効果ガス排出量削減を進めましょう。
【エコオフィスの推進（適切な自動車利用）】参照
- 事業所での再生可能エネルギー等未利用エネルギーの活用の検討と導入を進めていきましょう。
【エコオフィスの推進（再生可能エネルギー等の活用）】参照
- 建築物の省エネ対策、省エネルギー設備や BEMS の導入など、エネルギーの効率利用を進めていきましょう。
【エコオフィスの推進（エネルギーの効率利用）】参照

エコオフィスの推進（就業時間の効率化）

- サマータイムやフレックスタイムなどの導入を検討してみましょう。
- 通勤時間帯での交通緩和など、時差通勤や自宅勤務などの取組を検討しましょう。
- ノー残業デーを実施しましょう。

エコオフィスの推進（省エネルギーの推進）

照明の適正使用

- 始業前、昼休み、残業等の時間の照明は、必要な箇所のみ点灯しましょう。
- 会議室、倉庫、給湯室、トイレ等断続的に使用する箇所の照明は、使用后必ず消灯しましょう。
- 晴天時には業務に支障のない範囲で窓際消灯を実施しましょう。
- 一定の明るさを確保できる場合、照明の間引きを実施しましょう。
- 自動販売機等の照明は、夜間運転を停止しましょう。

OA機器・電気製品の適正使用

- 長時間使用しないパソコン等OA機器や電気機器の電源を切りましょう。
- OA機器や電気機器の使用状況を把握し、適正配置や台数の見直しなど省エネルギー化に努めましょう。

空調の適正使用

- カーテン、ブラインド等を利用し、空調効率を高めましょう。
- 空調の設定温度は、適正温度（夏 28℃、冬 20℃を目安）にしましょう。
- 手動により、こまめに運転を調整しましょう。
- 空調機立ち上がり時間の実情に合わせて、立ち上がり時間の短縮を検討しましょう。
- 夏季のクールビズや冬季のウォームビズなど、空調に頼り過ぎない執務を行いましょう。
- エアコンのフィルターの清掃等、設備・機器の保守管理を適正に行いましょう。

給湯・電気ポットの適正使用

- 給湯器を有効に利用し、電気ポットの使用をなるべく控えましょう。
- 電気ポットを使用するときは、低めの温度で保温し、長時間使用しない時はプラグを抜きましょう。

エレベーターの適正使用

- 近い階への移動は、階段を利用しましょう。（2 アップ 3 ダウンを基本としましょう）

温水洗浄便座の適正使用

- 温水洗浄便座の使用後にはふたを閉めましょう。
- 季節に合わせて便座暖房、洗浄水の温度調節をしましょう。

エコオフィスの推進（エネルギーの効率利用）

- 建物や事業所の建設や改修に際しては、自然採光や自然通風などの活用を検討しましょう。
- 建物や事業所の建設や改修に際しては、高气密高断熱化など省エネルギー対策を進めましょう。
- LCA（ライフサイクルアセスメント）を踏まえた、施設の省エネルギー化に努めましょう。
- 高効率型照明機器（Hf 蛍光灯や LED 照明等）の導入を進めましょう。
- O A 機器等の更新時は、省エネルギー型機器の購入を進めましょう。
- 敷地内の緑化に努めましょう。

エコオフィスの推進（再生可能エネルギー等の活用）

- 太陽光発電など、再生可能エネルギーを積極的に導入しましょう。
- コージェネレーションシステムの導入など、未利用エネルギーの活用を進めましょう。

エコオフィスの推進（適切な自動車利用）

- 近在への移動に際しては、自動車の利用を控え、徒歩や自転車の活用を進めましょう。
- 公共交通機関利用の奨励など、マイカー通勤を抑制する取組を進めていきましょう。
- 環境にやさしい運転（エコドライブ）を推奨しましょう。
- 共同輸配送の検討やルート of 適正化など、製品の輸送の効率化と車両運行の効率化を進めましょう。
- 車両の導入に際しては、低燃費・低公害車や次世代自動車を活用していきましょう。

循環型社会に貢献する業務活動の推進

- すぐにごみとして排出されるものを作らない、売らない、分別や修理しやすくするなど、市民の3R推進に協力します。
 - 各種リサイクル法に基づくリサイクルを進め、リサイクルのしくみづくりを進めます。
 - 再生品の利用・活用など、循環型社会の構築に貢献します。
 - 事業所での省資源化・再資源化を進め、事業系ごみの排出や産業廃棄物の減量を進めます。
- 【エコオフィスの推進（ごみの減量・資源化の推進）】参照
- 環境美化運動、資源回収運動など地域で行っている環境保全活動に積極的に参加・協力しましょう

エコオフィスの推進（ごみの減量・資源化の推進）**ごみの減量**

- 個人用ごみ箱を削減し、ごみの分別を徹底しましょう。
- シュレッダーの使用の際は、紙のみをシュレッダーし、リサイクルに心がけましょう。
- 使い捨て製品（紙コップ、紙皿等）の使用や購入を抑制するなど、会議・イベント時のごみ削減に努めましょう。
- 製品カタログ等の不要な資料をもらわないようにしましょう。
- マイ箸、マイカップ、マイバッグの使用を励行しましょう。
- 封筒、ファイル等を繰り返し使用しましょう。

梱包材の減量

- 過剰包装を断る、過剰包装をしない、過剰包装を選択しないようにするほか、取引業者等にも啓発を行いましょ。

リサイクルの推進

- リユース・リサイクルできる製品を購入しましょう。
- ごみの分別方法について統一した決まりを設け、職員全員に周知を行いましょ。
- プリンタのトナーカートリッジの回収とリサイクルを進めましょ。

用紙の適正使用

- 両面印刷、両面コピー、印刷サイズを調整し、用紙使用量を必要最小限にしましょ。
- パソコン画面で確認できるものは印刷しないようにしましょ。
- 印刷ミス、コピーミスを減らしましょ。
（コピー機の使用前後は、必ずリセットボタンを押す、大量印刷時は、一部印刷して確認を行うなど）
- 業務連絡等は、できる限り口頭や回覧、電子メール等を利用しましょ。
- 会議資料は簡略化するとともに、予備は必要最小限にしましょ。

用紙の再利用

- 内部資料・メモ用紙等にはミスコピー用紙を使用しましょ。

廃棄物の適正処理の推進

- 事業活動に伴う産業廃棄物の減量・資源化を進め、法に基づいて適正に処理します。
- 事業系ごみの一般ごみへの混入を防止します。

基本目標 3 環境学習・環境活動の環を広げ、交流と協働の社会をつくる

個別目標 6 環境交流と協働の社会づくりを進める（交流と協働社会づくり）

環境保全活動への参加など環境交流を進め、環境の環を広げていきましょう

- 緑化や美化運動、資源回収運動など、地域での環境保全活動に積極的に参加・協力しましょう。
- 事業活動による環境リスクの説明など、住民との理解を深め、リスクの低減の取組を進めていきましょう。
- 事業所が進めている環境学習、環境保全活動の情報を積極的に発信していきましょう。
- 市や市民団体などによる環境フォーラムなどに参加・協力するなど、環境の交流を進めましょう。
- 「なりた環境ネットワーク」やその活動に協力するなど、環境交流の環を広げましょう。

個別目標 7 環境に学び、環境を育む人づくりを進める（環境にやさしいひとづくり）

学校を核とした環境教育・学習に協力しましょう

- 学校が行う環境教育・学習や環境活動関連イベントに、積極的に協力しましょう。
- 事業所の知識や経験などを生かして、学校の環境教育・学習や体験学習などを支えましょう。
- 出前授業の実施や環境学習ツールの提供など、積極的に環境教育・学習を支援しましょう。
- 事業所で有している地域の環境に対する知見や情報を発信・提供していきましょう。

業種別環境配慮指針

事業活動に伴う環境負荷の内容や程度は、業種によっても大きく異なっています。そのため、事業活動に際しては、次の業種ごとの環境配慮指針を参考に、それぞれの事業活動における環境負荷の低減に努めていきましょう。

農業

●健全な農地の保全

- 貴重な緑の提供、美しい景観を形成している農地の保全に向け、担い手の育成に努めましょう。
- 化学肥料や化学合成農薬の使用低減などによる環境保全型農業に努めましょう。
- 土壌診断などにより適正施肥に努めましょう。
- 農薬などの散布に際し、周辺の土地利用に配慮しましょう。

●地産地消の推進

- 地場農産物の地域内消費拡大に努めましょう。
- 市民農園や体験農園を主催するなど、市民が農業に親しめるよう積極的に協力しましょう。

●廃棄物の適正処理・リサイクル

- 家畜排泄物や農作物残さなどを堆肥として再利用しましょう。
- 廃プラスチック類の適正処理に努めましょう。

建設業

●公害の防止

- 低公害型建設機械の導入、使用などに努めましょう。
- 車両の使用に際しては、適正な台数、運転時間、走行ルートなどの事前検討を行いましょう。
- 建設資材には有害な化学物質を含むものの使用を避け、代替品への切り替えに努めましょう。

●地球温暖化対策

- 省エネ効果の高い設備や再生可能エネルギーの導入など、エネルギー効率や温室効果ガス排出の低減に配慮した設計に努めましょう。
- 熱帯材の使用は控えましょう。

●廃棄物の適正処理・リサイクル

- 建設資材には、再生資材や再生できるものを使用するよう努めましょう。
- 建設副産物の発生抑制、適正処理、有効利用に努めましょう。

●生態系や周辺環境の保全

- 地下水の過剰な汲み上げをしないようにしましょう。
- 透水性舗装や浸透施設、雨水貯留施設を設置し、適正な水循環の確保に努めましょう。
- 生態系への影響を最小限に留めた開発・造成に努めましょう。
- 緑地の確保など敷地内の緑化に努めましょう。
- 周辺景観に配慮し良好な景観づくりに努めましょう。

製造業

●製品からの環境負荷の低減

- LCA を考慮した事業活動に取り組み、原材料調達、製造・輸送・販売など各段階において、省エネルギーや廃棄物の発生抑制・再利用・再資源化など環境負荷低減に努めましょう。
- 長寿命や省エネルギー、再利用可能な部品など環境に配慮した製品の開発・製造に努めましょう。

●公害の防止

- 大気汚染、水質汚濁、騒音などに関する自主的な管理目標を設定するとともに、定期的に測定調査を行うなど、適正管理に努めましょう。
- 低騒音型機器の導入、防音・防振設備の設置・管理など、騒音・振動の防止に努めましょう。
- 原材料に有害な化学物質を含むものの使用を避け、代替品への切り替えに努めましょう。

●地球温暖化対策

- 省エネルギー効果の高い設備や再生可能エネルギーの導入、余剰エネルギーの活用など、エネルギー効率に配慮した生産プロセスを構築するよう努めましょう。
- 工程中の洗浄水の循環使用など、水資源の効率的利用に努めましょう。

●省資源・リサイクル

- コージェネレーションシステムの導入や燃料転換などに努めましょう。
- 製品の梱包に際しては、簡易包装又はリサイクルしやすい梱包材を使用しましょう。
- 自社製品の回収やリサイクルなどを推進しましょう。

●環境配慮型製品の普及

- ユーザー・取引先への環境配慮型製品に関する普及啓発に努めましょう。

運輸・通信業

●公害の防止

- 荷物の搬入搬出場所、駐車場で騒音・振動、排気ガス、粉じんなどによる公害が発生しないよう適正な対策を行いましょ。

●地球温暖化対策

- 環境にやさしい運転（エコドライブ）を徹底しましょう。
- 低公害車の導入・転換に努めましょう。
- 最短走行ルートを選択などに努めましょう。

●省資源・リサイクル

- 梱包材などに使用する資材の簡素化、再使用・リサイクルに努めましょう。
- 車両や車両部品の再資源化率の向上に努めましょう。
- 駅や停留所から発生するごみの分別回収の徹底とリサイクルに努めましょう。

●生態系や周辺環境の保全

- コンテナなどの輸配送に伴うヒアリなど特定外来種の混入への注意と対策に努めます。

卸売・小売業

●公害の防止

- 交通渋滞や迷惑駐車、ごみの散乱などによる騒音、悪臭などが発生しないよう努めましょう。

●効率的な輸配送の推進

- 共同輸送、適切な配送ルート設定、計画的発注などにより輸配送の効率化に努めましょう。
- 通い箱やハンガー納品システムなど輸配送の梱包材の使用削減に努めましょう。

●廃棄物の減量・リサイクル

- 簡易包装、発泡スチロールトレイの使用量削減などに努めましょう。
- 廃棄商品の削減や生ごみなどの廃棄物のリサイクル推進に努めましょう。
- 宣伝用チラシなどは再生紙を利用し、配布数は必要最小限に努めましょう。

●環境配慮型製品の普及

- 低農薬商品、環境配慮型商品、地場産商品などの提供に努めましょう。
- 消費者へ環境配慮型商品の積極的利用を呼びかけましょう。
- マイバッグ運動の推進など、消費者の環境配慮行動の普及啓発に協力しましょう。

●生態系や周辺環境の保全

- 店舗の立地・事業活動による周辺環境への影響に配慮し、環境負荷の低減に努めましょう。

飲食店・ホテル

●公害の防止

- 営業に伴って、交通渋滞や迷惑駐車、ごみの散乱、騒音、悪臭などの公害が発生しないように努めましょう。

●排水管理の徹底

- 廃油は廃油容器や回収袋などで回収し、下水に流さないようにしましょう。
- グリーストラップを設置しましょう。
- 含有有害物質が少なく、分解されやすい洗剤を適正量で使用しましょう。

●ごみの減量とリサイクル

- 廃油のリサイクルに努めましょう。
- 残飯や生ごみの減量化、堆肥化などのリサイクルに努めましょう。

●省エネルギー・リサイクル

- タオル交換システムの見直しなど、リネン類の洗濯に使用する水量の削減に努めましょう。
- 省エネ型照明や節水型トイレなど、環境配慮型設備の導入に努めましょう。
- プラスチックが使用されている備品の代替品への転換に努めましょう。